

令和6年度 稲城市立稲城第六小学校 授業改善推進プラン全体計画



本校の授業改善に向けた開発的な視点

| 指導内容・指導方法・学習形態の工夫                              |              |                                                                                             |  | (1) 教育課程編成上の工夫                                                                                      |
|------------------------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウ<br>指<br>導<br>方<br>法<br>・<br>学<br>習<br>形<br>態 | ア 家庭学習の啓発・推進 | ・「宿題」という形で家庭学習の習慣化を図り、学年に応じて、各教科の課題の選択・数量・期日などを設定していく。同時に、学校だより、学年・学級通信、連絡帳などで家庭への通知の徹底を図る。 |  | ①授業時数の確保                                                                                            |
|                                                | イ 指導内容・教材開発  | ・学年会の打ち合わせを密にし、指導計画に則した内容を吟味していく。また、専科教員との合同学年会をもち、さらに多面からの検討を進める。                          |  | ②計画的指導の実施                                                                                           |
|                                                | ウ 習熟度別指導等    | ・習熟度別指導では、児童の既習事項のレディネステストにより、クラス・人数の編成を行う。                                                 |  | ・水曜5時間授業や行事の精選を行い、授業時数を確保する。                                                                        |
|                                                | エ ICT活用等     | ・タブレット端末を活用し、調べ学習や校外学習・宿泊行事のまとめなどに活用する。また、視覚的な情報を用いて自分の考えを整理し、物事を論理的に考える素地を作る。              |  | ・放課後の会議等を精選し、週2日（月・金）の補習の時間を設定する。                                                                   |
|                                                | オ 板書・机の配置等   | ・児童の学習意欲を引き出すために、発問・板書・机の配置・掲示等を工夫し、授業の質を高めるとともに、その充実を図る。また、配慮児童の机配置に留意する。                  |  | ・年間計画を明らかにし、行事時数や欠時数を事前に計算し、把握できるようにする。                                                             |
| ウ<br>指<br>導<br>方<br>法<br>・<br>学<br>習<br>形<br>態 | カ 体験学習等・その他  | ・低学年では「生活科」を中心に、3年生以上は「総合的な学習の時間」を活用して、地域の自然・文化に触れ、自ら体験する学習を積極的に取り入れる。                      |  | ・4月当初に学年別月別予定教科授業時数を作成しておき、毎月末に時数の把握・確保を行う。                                                         |
|                                                |              | ・「長縄」「持久走」「球技」等の集会や、元気アップタイム(月1回)を設け、楽しく運動に親しむ中で、体力の向上と技能の向上を目指すとともに、児童に達成感を味わわせる。          |  | (2) 問題解決能力育成上の工夫                                                                                    |
|                                                |              | ・学校2020レガシーを通して、オリンピック、歴史や意義・果たす役割などについて学び、平和な社会の実現に貢献しようとする態度を育成する。                        |  | ・児童の興味・関心を引き出す教材（身近なもの、既習事項、体験・経験したことなど）の工夫をし、児童の疑問から問題を設定する。                                       |
| ウ<br>指<br>導<br>方<br>法<br>・<br>学<br>習<br>形<br>態 |              |                                                                                             |  | ・全教科を通して主体的・対話的で深い学びが達成できるよう、社会や理科を中心に、問題解決型の学習(疑問・問題・予想・調査・実験・結果・まとめ(分かったことやこれからしたいこと) )を継続して指導する。 |
|                                                |              |                                                                                             |  | (3) 校内研究・研修の工夫                                                                                      |
|                                                |              |                                                                                             |  | ①教科授業実践力の強化(OJT) …互いに授業を開き、見て学び合う。(授業公開、授業参観を積極的に行う)                                                |
| ウ<br>指<br>導<br>方<br>法<br>・<br>学<br>習<br>形<br>態 |              |                                                                                             |  | ②校内研究のテーマに基づき、論理的な思考を育むためにアンブラグドの授業、ICTを活用したプログラミング学習についての研究を深める。                                   |
|                                                |              |                                                                                             |  | ③研修会への積極的参加・校内以外に、地域・近隣の学校(幼保も含む)と協力協働のもとに積極的に参観し合う。                                                |
|                                                |              |                                                                                             |  | (4) 評価活動(教師による評価・児童生徒による評価・保護者等による評価)の工夫                                                            |
| ウ<br>指<br>導<br>方<br>法<br>・<br>学<br>習<br>形<br>態 |              |                                                                                             |  | ①関係者評価を生かす…保護者・地域からの学校への意見・要望を丁寧に受け、さらに、児童の学校についての意識調査を行い、授業・行事等学校運営全体の改善に生かす。                      |
|                                                |              |                                                                                             |  | ②学校生活全体を通して、その都度反省等の協議を行い、すぐに次年度の改善案を提案・作成し、改善を図っていく。                                               |
|                                                |              |                                                                                             |  | (5) 家庭・地域社会との連携の工夫(行事・授業への保護者の参画・教育協力者としての連携)                                                       |
| ウ<br>指<br>導<br>方<br>法<br>・<br>学<br>習<br>形<br>態 |              |                                                                                             |  | ①各学期に2日間程度の学校公開を行い、保護者・地域の方々に日常的教育活動への理解を深めていただくと共に、学校行事や授業活動への参加を通して、補佐的に児童の個に応じた指導の援助をしていただく。     |
|                                                |              |                                                                                             |  | ②PTA・地域の行事等に職員が積極的に参加し、多方面から学校・児童を見守る態勢をつくる。                                                        |
|                                                |              |                                                                                             |  | (6) 特別支援教室(すまいるルーム)との連携                                                                             |
| ウ<br>指<br>導<br>方<br>法<br>・<br>学<br>習<br>形<br>態 |              |                                                                                             |  | ・特別支援教室巡回指導拠点校としての校内体制を整備するとともに、特別支援教室における指導の充実を図り、対象児童の学習や生活上の困難の改善を図る。                            |

